

ローマ法皇、新米大統領に祝辞声明を送る<バチカン放送>、2017/2/26

ローマ法皇は就任演説を査読、過去のトランプ批判から一転、肯定姿勢に変化、だが米新政権は際どい綱渡りが当面継続するだろう、決め手は皆の姿勢次第、

[1]: **Pope Francis sends good wishes to US President Donald Trump**

http://en.radiovaticana.va/news/2017/01/20/pope_francis_sends_good_wishes_to_us_president_donald_trump/1287205 <20/01/2017 18:40>

確かに儀礼形式的なお祝い声明と云えなくもないが、詳細点で呼応点が見られる。

Upon your **inauguration** as the forty-fifth President of the United States of America, I offer you my cordial good wishes and the assurance of my prayers that Almighty God will grant you wisdom and strength in the exercise of your high office.

アメリカ大統領の第45代大統領としての就任式に際し、私は貴殿に誠意好意と私の信者の保障をもって全能の神があなたの最高府執政の際にあなたに知恵と強さを与えてくださることを心からお祈りしております<和訳、筆者+Google 翻訳>。

At a time when our human family is beset by grave humanitarian crises demanding far-sighted and united political responses,

私たち人間家族が遠大な視野と政治団結応答を要求する重荘な人類危機に直面し、

I pray that your decisions will be guided by the rich spiritual and ethical values that have shaped the history of the American people and your nation's commitment to the advancement of human dignity and freedom worldwide.

人間尊厳と世界大なる自由の進歩での米国人歴史と国家関与を形成した豊かな精神と倫理価値ヲもって貴殿決定がなされる事を祈願します。

Under your leadership, may America's stature continue to be measured above all by its concern for the poor, the outcast and those in need who, like Lazarus, stand before our door.

貴殿指導の下に米国政治が取り分け、弱者へ配慮し、乞食病人 Lazarus がわれ等キリスト (our door)の前に立上がったように必用物供与が計られるますように、

With these sentiments, I ask the Lord to grant you and your family, and all the beloved American people, his blessings of peace, concord and every material and spiritual prosperity.

これらの感情をもって、私は、あなたとあなたの家族、そして愛するすべてのアメリカ人に、平和、合意、あらゆる物質的、精神的繁栄の祝福を与えるよう、主に願います。

FRANCISCUS PP.

最も注目すべきは黄色箱部分声明 (**far-sighted and united political responses**)、

これは新大統領演説の以下に対応するだろう (*Finally, must think big and dream even bigger*)。以下引用にはないが就任演説では国民政治団結も再々言及されてる事にも留意、

Finally, must think **big** and dream even **bigger**(命令形). In America, we understand that a nation is only living as long it is striving. We will no longer accept politicians who are all talk and no action, constantly complaining, but never doing anything about it.

The time for empty talk is over. Now arrives the hour of action(空話中止,今こそ行動時到来).
Do not allow anyone to tell you that it cannot be done.

それが不可能などとは誰にも言わせてはいけない

No challenge can match the heart and fight and spirit of America. We will not fail.

Our country will thrive and prosper again(=We will not fail).

挑戦から逃げるは米国の敢闘精神に沿う事が出来ない。われ等は失敗する意思はない。

We stand at the birth of a new millennium,

我々は新世紀の誕生点に立ち会っており(反転すれば地球絶滅点に立ち会う事になる！！)
ready

以下を準備(心)すべきだ(命令形！！)

to unlock the mysteries of space,

宇宙？(空間,大気,嘘の意味)のあの謎(mis-story=climate denier)を解放(免罪)する事！、

to free the Earth from the miseries of disease,

惨めなあの災害(disaster)から地球を解放する事！

and to harness the energies, industries and technologies of tomorrow.

明日のエネルギー群,産業群,技術群を一つに御する事！！.

☞ : {unlock,free}=解放に対して harness は反転して一つに縛り制御するの意味

☞ : space free energy =体制下で弾圧されてる真空からのエネルギー創始技術。

[2] : だが米新政権現実には守旧派攻撃全開で綱渡り状態危機！！、

小企業新政権は大企業{米軍産 CIA + 報道 + 世界企業}複合体 = 守旧派(globalists 戦争屋)の反命題で成立だから過去現在の激烈な闘争は必然、だが政権発足後の速攻行政で国民過半数支持獲得、時間を掛けて行政新命令連発の実績で地道に国内支持基盤固めが基本路線。

(1)米通商政策と米国内雇用問題。

新大統領が得意な所で初日 T P P 撤廃から国内雇用掘り出しで支持を稼いだ。対外的にはなりふり構わず内政優先、国内支持基盤固め = 権力移行が確信できるまで遣るだろう。

(2)対大企業報道(日本,世界的にも大企業報道は各国でも反新米政権！！) :

守旧派陣営大企業報道は選挙以前から以後も一層、細事で新政権攻撃で一色！！、

これは国内支持基盤固めの一つ大障害であり、抗戦継続は不可避、

この勝敗決定は国民側にあり、SNS 優勢から時間を掛けると勝算あり、

[3]: 最強敵軍産複合体 CIA では親露路線棚上げでしのぐ?、敵は強硬派!!、
モレル元 CIA 副長官が予言した通り、ロシアの主要外交官や大統領の顧問が連続して死亡の謎
<http://plaza.rakuten.co.jp/condor33/diary/201702220000/>

2016年8月、マイク・モレル元 CIA 副長官はチャーリー・ローズのインタビューでロシア人やイラン人に代償を払わせるべきだと語った。司会者からロシア人とイラン人を殺すという意味かと問われると、その通りだと答え、わからないように、と付け加えている。このモレルは昨年の大統領選でヒラリー・クリントンを支援していた。.....ネオコン/CIA はロシアに対する直接的な戦争を始めた可能性がある。目を塞いでも事態は進む。

まだ戦い続けようとメッセージを発表したヒラリーの違法な資金集めに関する証言映像が外へ出た
<http://plaza.rakuten.co.jp/condor33/diary/201702260000/>

パープル革命を宣言しているヒラリー・クリントンは民主党員に対し、まだ戦い続けようと訴えるメッセージをインターネット上に流した。昨年の大統領選で敗北が決まった後にジョージ・ソロスやジョン・ソロスをはじめとする人びとがドナルド・トランプ政権を倒すための方策を話し合うため、マンダリン・オリエンタル・ホテルで秘密会議を開いた。

フリン辞任めぐるトランプの深謀 【2017年2月16日】

軍産マスコミと対立し続けてきたトランプは喧嘩に強く、微罪で側近を辞めさせる必要などない。フリン更迭の原動力は、軍産の圧力よりもトランプの意志だ。トランプは、対露和解とイラン核協定破棄という、米エリート層が許容できない2つの姿勢の主導役としてフリンを高位に据えた。そしてトランプは今、フリンの追放と同時に、対露和解とイラン核協定破棄の両方を棚上げする方に動いている。

Trump's World of Intrigue: Twists and Turns of the Michael Flynn Resignation
<http://www.globalresearch.ca/trumps-world-of-intrigue-twists-and-turns-of-the-michael-flynn-resignation/5575828>

<Google 翻訳マシン、日本語訳ではいい加減で正確さは期待できないが>

上記田中氏全論文は読めないが、これがそれと等価内容と見られる。何度も反復するが新革命政権への国民支持＝権力基盤の全面移行の進行程度が新政権権力掌握度になる、発足1ヶ月不完全状態であるという事に今は尽きる。対外的にも同じ事だ、現状世界各国は守旧派につくのか、あるいは新政権側に回るのかで悩ましい事だが、決定的事項は以下、

もし **Rockefeller** 家お上クリントン政権ならば中東戦争→**米露世界最終戦争!!!**。
何と守旧派は**自殺路線**に必死!!!、その最大理由は何か???

[4]: 小企業報道VS大企業報道。

America Must Stand with Alex Jones and Mike Adams

http://www.thecommonsenseshow.com/2017/02/24/america-must-stand-with-alex-jones-and-mike-adams/?utm_source=rss&utm_medium=rss&utm_campaign=america-must-stand-with-alex-jones-and-mike-adams

米国は強度の反共国家、そこで**反体制言論**を遣るには一見右翼の形で論を展開する。両名共に誠実男、今守旧派体制から酷く攻撃されてる。逆に**米左翼は隠れ体制派**,

Who is Alex Jones, the chief conspirator who inspires Donald Trump

<http://www.lesinrocks.com/2017/02/22/actualite/alex-jones-conspirateur-chef-inspire-donald-trump-11915915/>

Right now, the American press talks a lot about Alex Jones. And for very sad reasons: this 43-year-old Texan extremist whispers in the ear of the President of the United States, who grants him a blind confidence, a flood of fake news and complotist theories.

これは仏保守派サイトだが、逆さまを言ってる。欧州は日本同様に酷く守旧派＝米戦争屋支配が強力に作用(**グラジオ作戦**)、その追随者一つが上記例。

付録：お客の状態と意向を知る！。

(欧州)大陸は理論演繹主義で、英国流は経験観察から科学&物事を洞察すると云われた。前者は自己虫型、後者は他人に心を開いた見方と言う事もできる。現実には勝利したのは後者方で、前者は間違いが多く、後者は現実整合だという事だ、日本の企業経営や政治失敗を見ると、まずは己利益立場意向が優先、他者全体を除外している自己虫型である事だ。

*大勢として一つだけ鋭敏な事は時の勝者、権力者に追随だけは対した者です(事大主義)。

時に田中角栄のような民族自立派も出たが守旧派マスコミ(**裏切り者**)の扇動で結局敗退した、英国操縦の明治維新以後日本は**裏切り者が支配する国**になった**逆さま国家**。筆頭が敗戦承知で開戦の天皇家。

広島長崎の被爆と今回の東北大震災での福島原発破綻、最終電源装置をはずした裏切り者が居た。之では現実整合しない、筆者自身は論理学と力学と言う理論演繹で商売と思ってるが、それでは不完全も一応知るので、朝一番は国内外情報収集に時間を割きます。それでも本当に他人意向が完全掌握には遠く、難儀します。積極的に聞き手に回る労力を割くべきなのだろう(市場調査)、最も客が世間真相を知らなければ意味ある調査にはなりにくい、日本(欧米も)では大マスコミと教育機関が腐敗し、**真相真実を述べないので駄目の悪循環から脱出できない**。米トランプが殊更に偉大な米国再生を叫ぶのは現状米国が最悪だからで、だが今回選挙結果を見ると米少数派報道の長期忍耐からの躍進が目立つ。日本にはそれが無い。ジュリアン.アサンジ、エドワード.スノデン、ブラッドレイ.マニングが居ない。